

バロッコ (1976)

BAROCCO

メディア 映画

ジャンル サスペンス

製作国 フランス

色彩 Color

時間 108分

初公開日 1990/11/03

公開情報 シネマテン

【キャッチコピー】

愛は最も美しい犯罪の手段

【解説】

まだ初々しいアジャーニ、19歳の作品である。共演のドパルデューも若々しくほっそりしている。それぞれ、片や「アデルの恋の物語」で、もう一方は「1900年」で若き天才の名をほしいままにしていた頃だ。このセリ・ノワール（暗黒映画）はテシネのヒッチコキアンぶりを如実に示す凝った語り口で、赤い窓のアムステルダムを舞台に名匠P・サルドのスコアが画面を切り裂くように流れ、幻惑的なスリルを現出させる。

選挙戦さなかのアムステルダム。ボクサーのサンスは有力候補者との過去のホモセクシャルな関係をネタに、選挙妨害に加担、巨額の報酬を得るが、彼を追ってきた謎の男に殺される。恋人ロールは事件を追い、実は彼を殺した男が彼と瓜二つであると知り、めまいのような戸惑いを覚える……。

濡れたような闇を捉えるニュイッテンのカメラ、豪華な助演陣も特筆すべき出来。ことに人のいい娼婦ネリーのM=F・ピジェは素晴らしく、彼女はこの役でセザール賞を受けた。

【クレジット】

監督	アンドレ・テシネ	Andre Techine
製作	アラン・サルド	Alain Sarde
	アンドレ・ジェノヴェ	Andre Genoves
脚本	アンドレ・テシネ	Andre Techine
	マリリン・ゴールドイン	Marilyn Goldin
撮影	ブルーノ・ニュイッテン	Bruno Nuytten
音楽	フィリップ・サルド	Philippe Sarde
出演	イザベル・アジャーニ	Isabelle Adjani
	ジェラルール・ドパルデュー	Gerard Depardieu
	マリー＝フランス・ピジェ	Marie-France Pisier
	ジャン＝クロード・ブリアリ	Jean-Claude Brialys
	ジュリアン・ギオマール	Julien Guiomar
	クロード・ブラッスール	Claude Brasseur (特別出演)